

(第一類 第十九号)

第二回 國會 衆議院 議院運営委員會議録 第六十一号

昭和二十三年六月二十九日(火曜日)

午前十時五十三分開議

出席委員

委員長 淺沼稻次郎君

理事 坪川 信三君

小澤 佐重喜君

山口 喜久二郎君

笹口 晃君

吉川 兼光君

神山 榮一君

成重 光貞君

中野 四郎君

林 百郎君

出席政府委員

法制局長 佐藤 達夫君

委員外の出席者

議長 長 松岡 駒吉君

副議長 長 田中 萬逸君

議員 員 齋藤 晃君

事務局長 長 大池 眞君

法制部第一部長 福原 忠男君

本日の會議に付した事件

裁判官彈劾法の一部を改正する法律案起草に関する件

議院事務局法の一部を改正する法律案起草に関する件

議院法制局法案起草に関する件

福井、石川、和歌山各縣下における震災の救援に関する決議案並びに震災地に対する職員派遣に関する件

參議院回付案の取扱ひに関する件

法制局長官より政府提出予定法案の説明聴取

(筆記)

第一類第十九号

議院運営委員會議録

第六十二号

昭和二十三年六月二十九日

○淺沼委員長 これより議院運営委員會議を開きます。

彈劾裁判所と國會との關係について事務局長から御説明を願います。

○大池事務局長 彈劾裁判所と國會との關係について私見を申し上げて、さらに法制局長官の御意見を伺いたいと思存します。

彈劾裁判所と國會との關係の法律的の面を申し述べます。彈劾裁判所憲法に基きまして國會に附置されたものでありますから、この機關は國會の機關であると思存します。従つて彈劾裁判所そのものは國會が監督をし、これを管理する権能をもつてゐるものと私自身は解釈をしております。しかしながらこの彈劾裁判法によりまして、訴訟委員會があるいは彈劾裁判所そのものが獨立をして職務を行うことでありますから、國會そのものが職務を行う場合に監督指揮は全然できません。獨立した機關でありますから獨立で職務執行ができるものと思存します。従いまして裁判所並に訴訟委員會の給與の問題は、國會が適當と認める予算を組んで彈劾裁判所の費用、訴訟委員會の費用として、それを計上し、國會予算としてその運行を全からしめるのが法の建前ではなからうかと思存します。ただ事実問題の執行にあたりましては、一々國會にそれを提出してどうこうするといふことは困難でありますし、兩院に所屬してゐるものでありますから、兩院の議長が彈劾裁判所の予算の提出については、これを委任して適當に行わ

せるといふようなことが一番便利な方法ではなからうかと思存します。

○平川委員 國會予算でとるべきであるといふことではあります。実際はどうかでござりますか。

○大池事務局長 國會の予算の中に國會図書館の予算並びに彈劾裁判所予算、訴訟委員會の予算として別の項目を設けまして一括して出してあります。彈劾裁判所訴訟委員會そのものが予算の編成をやつておるわけではなくて、手続上向うの仕事であります。委員會の御意向を聞いて、それに應ずるような予算を一應事務的に編成いたしまして、運営委員會の御承認のあつたものを國會予算として衆議院議長が大藏省に要求するという形になります。

○淺沼委員長 それでは法制局長官から何かお話がありますか。

○佐藤 連政府委員 事務局長の御説明の通りであります。

○淺沼委員長 それでは改正案の第五條第八項の「國會の閉會中その職務を行う場合においては」というのを削除してはと意見については、現行法通りに行くといふことと異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

次の第七條の事務局案については、改正案通り決定して異議ありませんか。

○石田(博)委員 人員四名といふこと

については、主事以外の者を増すといふことはあり得るわけですか。

○大池事務局長 職員としては主事まで職員でありますので、それ以外のこと、たとえば場所がよそへ設けられるという場合に、小使とかタイピストを使う必要があるときは、職員以外の者になりますから、採用することはできると思存します。

○石田(博)委員 その点でしばらく何もしていなかつた訴訟委員會が、最近非常に忙しくなつてきたといふこと、あるいは將來生ずべき事態に應ずるといふ建前で、現在のところ四名に殖やすことは異議ありませんが、その運営にあつて、主事以外の人員の採用については、院内の職員お互いに有無相通するといふ点で、院内の職員の配置轉換を考慮するといふ点を附帯條件として、この原案に賛成いたします。

○淺沼委員長 今、石田君の言われた條件を附帯して異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

○大池事務局長 第七條の最後の事項ですが「事務局局長及びその他の参事及び主事は委員長が衆議院議長の同意を得てこれを任免する。」とあります。それに「衆議院議長同意及び議院運営委員會の承認」といふ字句を入れていただきたいと思つております。今度國會法がそういうことに本院の議決でなりましたので、衆議院の事務局の方の採用もその形式であり、法制局の採用もその形式でやりますので、これも委員長だけでなしに、運営委員會の承認も必要であるように同調をさせていただきますと思存します。

○淺沼委員長 それでよろしゅうござりますか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

それから十六條の九項と十八條は今改正された條項は訴訟委員會と裁判所と違つただけで、内容は全部同じであります。

○大池事務局長 結局十六條の九項は削除になります。今の五條の八項も削除になります。そこで今の十八條の一番最後の事務局局長その他の参事及び主事は裁判長が兩院の議長の同意を得て議院運営委員會の承認を得てこれを任免する。これは兩院院でそれから両方だけなければなりません。三十條は書記長及び書記を事務局局長その他の参事及び主事に改めるといふだけでござります。

○淺沼委員長 三十條は名前の変更だけでござりますから、これでよろしゅうござりますか。

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

証があつた場合における罰則の不均衡があつたといふことが議論の内容になつております。法制部第一部長の御意見を聴きたいと思ひます。

○藤原法制部第一部長 第四十四條第二項の問題ですが、訴追委員会の性質から申しますと、裁判所に対する檢察廳と同じ形をとつていふように思われまふ。檢事については宣誓を認めず、虚偽の陳述に刑罰を科さないのが今までの刑事訴訟法の考え方であり、新しい理念の刑事訴訟法のもとにおきましても同様であります。この考え方からすれば訴追委員会にあまり権力をもち、訴追委員会の調査について、もし虚偽の陳述をしたならば重い刑罰を加えるとする、今の刑事訴訟法の建前とは、かなり違つたものになると思ひます。

○淺沼委員長 御意見ありますか。
○林百委員 福原君の言ふのは、訴追委員会の場合の虚偽の陳述ですか。
○藤原法制部第一部長 そうです。今のは四十四條の二項の問題です。
○林百委員 四十四條の二項と二項の均衡の問題になるのではありませんか。

○藤原法制部第一部長 裁判所に対するものと、檢察廳に対するものとを差をつけることが適當であると思ひます。刑事訴訟法では裁判所に関する関係では過料五千円となつており、彈劾裁判所は三千円であり、檢察官については処罰規定はないのであります。

○大池事務局長 この点で一應申上げておきたいと思ひますのは、関係筋から過日私に申されたことであり、また、運営委員会に出たら考へておいたかどうかと言われた点は、彈劾裁判所

と訴追委員会の予算の編成のことに關して、どこにも書いてないので、不明確である。国会図書館の方は、国会図書館長が予算を編成して、これを運営委員会へかけて、運営委員会にこれに対する意見をつけて議長のところへ出すことになつております。そういう手続規定が一つもないが、この法に基く規則等を作る場合、その運用の方法をこしらへたらどうかと言われたのであります。

それから国会閉会中は問題はありませんが、国会閉会中に調査事項が起つた場合に、東京を議長が離れて、委員長の命令だけで調査に行つてしまふのは、国会議員たる資格をもつていふ者としてよくないではないか。国会閉会中に東京を離れる場合は、議院運営委員会の承認と議長の同意を得なければ、正式の常任委員会が派遣する場合でも、議長の承認を必要としておるのであるから、それと同等の手続をとる必要がある。それも入るとすれば第十一條の改正の中にはいならなければならぬ。特に裁判所が東京の地区を離れてよその法廷でこれをやることはできるのだが、行く場合その必要性を認めることは、両院の議長の同意が必要ではないかといふことを言つておられました。そのことだけお傳へしておきます。

○淺沼委員長 お諮りいたします。それは図書館の予算を組むときに、図書館法の中にそういう手続規定が設けられておるといふことであれば、裁判官に差支えないと思ひます。さらに加えて国会閉会中訴追委員としてあるいは裁判官として出張する場合に、議長及

び議院運営委員会の承認を必要とする規定を入れて差支えないと思ひます。規定を入れて明瞭にして、條文整理を事務局に一任することに異議ありませんか。

○林百委員 今の罰則の均衡の点は話がついたでしょうか。
○淺沼委員長 この問題はこの問訴追委員から提議がありましたが、研究問題として残すことにして、改正案全体を一括して議題に供します。ただいま決定をいたしましたことについて、一切の條文整理を事務局に一任し、本会議に提出その他のことについては今までの慣例にならうことに異議ありませんか。

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。
○淺沼委員長 事務局長から承認要求の件について申し上げます。
○大池事務局長 国土計画委員長から福井、石川兩縣下の震災状況の現地調査のために委員数名を差向けたい。本日承認があれば、明日から実地に視察をしたい、こういう要求が参つております。その前にちよつと御報告申し上げます。その前には、福井縣知事から電報が来ております。

福井市、坂井郡、吉田郡、足羽郡倒壊全滅、ほか相当の被害。福井市は五割焼失、目下延焼中、救助対象三十万人、死傷者未だ不明、救費、福井間自動車通行可能、救助取計、請う。

福井縣知事。こういうような情勢であります。従いまして福井、石川の兩縣下に震災の調査に行きたい、こういう要求でございます。

○山下(賛)委員 相当ひどい震災のよりに見受けられますので、国土計画委員会が調査に行くことは悪いとは思ひませんが、それよりも、これほどの大きな震災に對しては、少くとも、衆議院は院議をもつて、衆議院の各派代表を網羅して調査に行くべきが妥當ではなからうかと思ひます。
○淺沼委員長 山下君の御発言がありました。異議ありませんか。

○石田(傳)委員 視察に行くことは結構だがその結果、災害が起つてその救助に奔走して居る地元当局に迷惑をかけるといふ事柄は絶対に避けてもらいたいと思ひます。
○淺沼委員長 速記をやめて下さい。
○淺沼委員長 速記をやめて下さい。

○淺沼委員長 速記をやめて下さい。
○淺沼委員長 速記をやめて下さい。

○淺沼委員長 速記をやめて下さい。
○淺沼委員長 速記をやめて下さい。

案の予想、及びどうしても今会期中に上げていただかなければならぬ法案について御報告を承つたのであります。本日、さらに御報告し、また御了承を願ひたいといふことで法制局長が見えておりますから、御意見を伺うことに異議ありませんか。

○大池事務局長 その表について御説明申し上げます。厚生委員会に載つております船員保險法の一部改正法律案これが審議を終りました。商業委員会の貿易資金特別会計法の一部改正法律案が上りました。この二つだけ上つております。

○淺沼委員長 それでは法制局長から御説明を願ひます。
○佐藤(達)政府委員 現在御審議中の法案の中で、政府が非常に関心をもちておると思われるものを一應御報告申し上げます。

治安及び地方制度委員会関係では、地方財政法案、地方配付税法案、地方税法を改正する法律案、警察官等職務執行法案、等です。司法委員会関係は、刑事訴訟法を改正する法律案、少年法の職権の特例等に関する法律案、少年法を改正する法律案、文教委員会関係では日本学術会議法案、教育委員会法案、文化委員会関係では榮典法案、厚生委員会関係では大体順調に上つておりますから、特に申し上げるものはあり

ませんが、國民健康保險法の一部を改正する法律案、理容師法特例案等は、おそれなく問題はないと思ひます。農林委員関係では、自作農創設特別措置法の一部を改正する法律案、農地調整法の一部を改正する法律案、農業協同組合法の一部を改正する法律案、食糧確保臨時措置法案です。商業委員会関係では事業者団体法案、輸出品取締法案等は先方が非常に関心をもち上げておられるのでその意味で申し上げます。運輸交通委員会関係では、國有鉄道運賃法案、港域法案は七月十五日の締切になつております。通信委員会関係では電信電話料金法案、郵便法等の一部を改正する法律案、財政及び金融委員会には軍事公債の利子支拂の特例に関する法律案、所得税法の一部を改正する等の法律案、取引高税法、大藏省預金部特別会計の昭和二十三年度における歳入不足補填のための一般会計からする繰入金に關する一部を改正する法律案、國有鐵道事業特別会計及び通信事業特別会計における事業運営以外の行政に要する経費の財源に充てるための一般会計からする繰入金に關する法律案、復興金融庫法の一部を改正する法律案、印紙をもつてする歳入金納付に關する法律案、簡易生命保險事業に關する法律案、戦争危険に因る死亡に基く保險金の支拂による損失の補填に關する法律案、物資の割当に關する手数料等の徴收に關する法律案、決算委員会関係では建設設置法案は非常に重要ですが、順調に進んでおるようであり、それから回付案では民事訴訟法の一部を改正する法律案、は重要と考へております。

以上は一應の御参考までの説明でございます。

五月以來先方に持ち込んだのは相當溜つておりましたが、実は二三日中じかかぬておりますが、実は二三日中にオーケーのくるものが十一、二件はありますという見通しであります。そのうち主なるもの五、六件政府として関心をもちおるものを、一應申し上げておきたいと思ひます。金融機關再建整備法の一部を改正する法律案はようやく今日あたり承認が来そうであります。それから競馬會が閉鎖機關に指定されることになり、閉鎖上、競馬法を全面的に改正しなければならぬことになりました。國營競馬にかえなければならぬので、競馬法がございまして、これに伴ひまして、國營になり、開係上、特別会計法もそれに伴つて出てくるのであります。それから新給與の關係で昭和二十三年六月以降の政府職員俸給等に関する法律案、農業漁業復興資金融通法案、それに關する特別会計法がございまして、それから外國貿易特別出資金特別会計法案これは全く先方の要望によるのであります。それからおもなるものであります。あとが國民金融公社法案、罹災都市借地借家臨時処理法による法律案、それに伴うて適用地区を指定する法律案、それから思いがけぬときにオーケーの來たのが、教育公務員の任免等に關する法律案、これは本日提案になると思ひます。

先方に出してあります。これはオーケーは來ておりません。小さい問題が馬匹組合の整理等に關する法律案、開拓者資金融通法の一部改正、森林資源造成法の二部を改正する法律案、それから石炭鉱業權等臨時措置法案、以上事務的に申し上げます。さういふのが実情でございます。

○淺沼委員長 政府からの議案をなるべく上げてもらいたいという要望と、今後の出るであろうと思われる法案の説明を承つて、會議を進めたいと思ひます。

次にお諮りしたいと思ひますのは、中小企業廳に対する衆議院の態度の問題ですが、各党とも意見はきまつておると思ひます。商業委員會の決定では大體衆議院の案を通すことになつておるようで、本日の日程によつておりますから、どうするかということに院内交渉に任せることに異議ありませんか。

○淺沼委員長 次にお諮りいたします。速記をやめて下さい。

〔速記中止〕

○淺沼委員長 政治資金規正法の取扱ひについては午後もう一回この會議を開くことと異議ありませんか。

〔異議なしと稱ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

○淺沼委員長 次にお諮りいたします。石川縣の震災の實地調査に關する件は院議をもつて代表者を派遣することにきまつたのであります。見舞決議の決議文を持つて行く方が妥當ではないかと思ひます。さういふことに決定してよろしゅうございませぬか。

〔異議なしと稱ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

○山口喜委員 福井縣も大きいですが、和歌山縣の震災に關して早川君が緊急質問をしたように、龍神温泉を中心とする所が震源地帯であることがわかつて、各村々の道路の決壊亀裂で龍神温泉は全滅した。通信連絡がないためにわからなかつたが、たいへんなことらしいのです。だから同じ地震の被害であれば、それも附け加えておいてもらいたいと思ひます。

○淺沼委員長 代表の議員派遣の件に關しては第二の問題として福井、石川、和歌山縣地方における震災の樹間決議という取扱ひにして異議ありませんか。

〔異議なしと稱ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

午後零時十分休憩

午後零時十二分開議

○淺沼委員長 これより議院事務局法の一部を改正する法律案並びに議院法制局法案を一括議題に供します。昨日一應の決定を見たのであります。議院法制局法案の第四條における法制局長は特にこれを置く必要がないと認められますので、第四條を削除してはいかがかと存じますが、御異議はありますか。

〔異議なしと稱ぶ者あり〕

○淺沼委員長 さよう決定いたしました。

本日これにて散會いたします。午後零時十六分散會

昭和二十三年九月二十九日印刷

昭和二十三年九月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局